

市民企画事業実施計画書

事業名	安心・元気な子どもの居場所づくりプロジェクトⅢ
応募事業の内容	<p>「安心な居場所づくりプロジェクト」としては次の2つを考えている。 「安心プロジェクト」として「安心・安全マップづくり」である。これについては学校及び児童館とも協力して地域の大人と共に、地域の安全マップづくりを進めたいと考えている。 さらに、学校ごとに作られている情報を収集して、広域の安心マップを作成し、公開をしたいと考えている。 「安全プロジェクト」として現在セーフティ教室という事業が行われているが、CAPの方々協働して、より大人も含めてきめ細かく指導する教室を実施したいと考えている。 「居場所づくり」については、定期的なスポーツ、演劇、科学教室等、地域の要請に従って、講師を派遣する事業を継続的に展開したい。</p>
この企画した目的	<p>応募事業を企画した目的は、第1は、近年子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件が多発し、八王子市内において連日のように不審者に関する情報が出されている。そのため安心な子どもたちの居場所の確保のために、地域に関する情報を広範囲に収集して、誰もが見られるような仕組みを作りたいと考えている。第2に、各団体、各地域の活動を支援し「サタデースクール事業」をさらに継続、発展させる支援を行うことにあります。第3に、次の効果の項目と関係しますが、子どもに関わる存在として「母親」の占める割合が高いが、さまざまな集団や世代が関わり合う仕組み作りが必要だと考えています。</p>
見込まれる具体的な効果	<p>効果としては、各地区で「安心・安全マップづくり」が進められるように支援をしたり、各学校で留まっているデータを周辺地区にも開示、知らせたりすることを通じて、子どもたちの生活行動範囲に合わせた、広域のマップづくりを目指したいと考えています。 また、そのような取り組みを通じて、子どもたちと関わる場づくりへと発展していくように私たちも支援をしたいと考えています。各地区の子どもに関わる団体及び個人をネットワークすることを通じて、イベントとは異なる恒常的な子どもたちの居場所をつくる支援を行っていきたい。 子どもから、中高大学生、親世代に加えて、シニア世代が加わることによって、多世代が交流するコミュニティづくりを目指したい。</p>

年間のスケジュール						
4月	居場所づくり	安心マップ	データベース	大学生のネットワー	広報誌	調査
5月	呼びかけ	呼びかけ		呼びかけ		テーマ
6月		情報収集	情報収集			
7月	前期教室開	地図作成				準備
8月					前期研修	
9月						広報誌発行
10月		地図情報の確認	情報加工			調査
11月	後期教室開	地図の活用				
12月						分析
1月					後期研修	
2月			公開			
3月						広報誌発行 公開
実施体制		事業担当制として各事業について、担当責任者を選任し、会員で役割分担し、プロジェクトチームを編成する。本年度の当面の役割分担は以下の通りである。 現在の会員は12名で役割分担。「安心・安全マップ」づくりには、都市計画コンサル会社、「安全教室」についてはCAP八王子との協働事業とする。 「居場所づくり」については、地域の演劇グループやスポーツクラブと協働して実施する予定である。むろん、児童館、子ども家庭支援センターとも共同で事業を展開したいと考えている。				
自立運営に向けた考え方		会費収入、事業費収入(委託事業も含む)、各種補助金、以上三者のバランスのとれた収入構成を目指したい。将来、市と協働事業を実施するパートナーとして成長することを期したいと考えている。なお、次年度は本会をNPOとするかについての結論を出したいと考えている。				

※この計画書には、平成 年度実施分を記入してください。複数年度に渡る一連の事業で次年度以降も補助金申し込みを予定している場合は、所定の様式による「複数年度の事業計画書」を添付してください。